

様式

**特別支援学校埼玉保己一学園の活性化・特色化方針**  
(令和3年度～)

## 1 学校基本情報

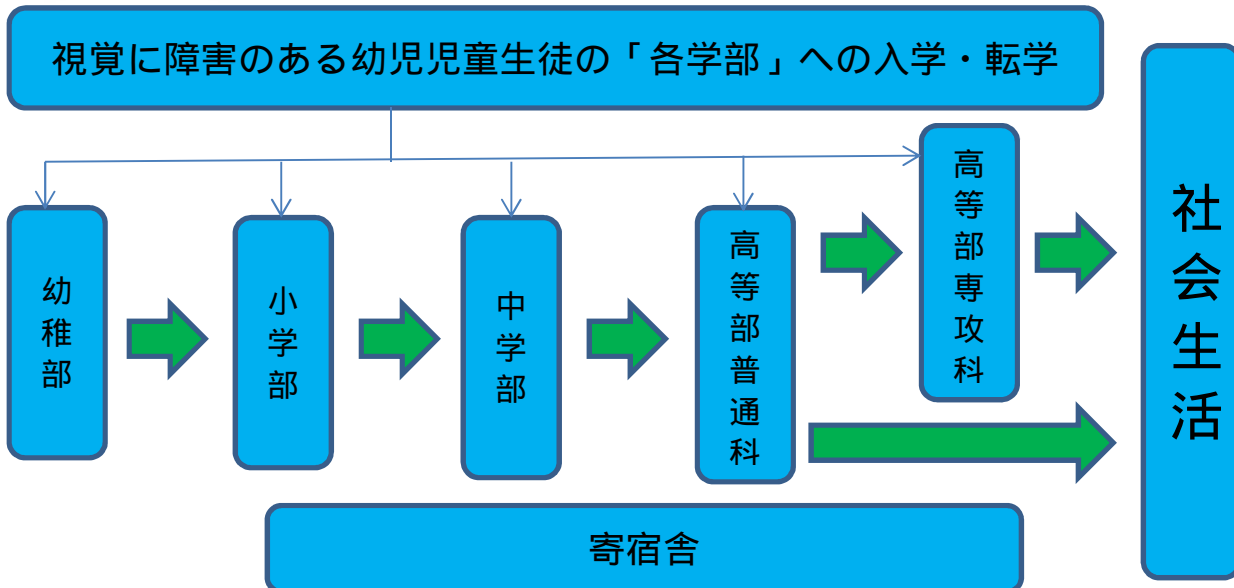
種別	視覚障害	学部・ 学科	幼稚部・小学部・中学部 高等部普通科・高等部専攻科	児童 生徒数	(男)77 (女)51	計128
ホームページ	<a href="http://www.mo-sb.spec.ed.jp/">http://www.mo-sb.spec.ed.jp/</a>					
アクセス	JR川越線 笠幡駅下車 徒歩20分					
教育課程等 の特徴	<p>視覚に障害のある幼児児童生徒のための学校で、点字や拡大文字などを使って、それぞれ幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を行っています。</p> <p>視覚障害と他の障害のある幼児児童生徒に対しては、発達段階に応じた教育を行っています。</p>					
特色ある 学校行事や 部活動	<p><b>学校行事</b>          体育祭：幼稚部・小学部・中学部・高等部普通科の合同体育祭です。          霜月祭（文化祭） ステージ発表、展示、模擬店などの全学部合同文化祭です。          寄宿舎夏祭り・餅つき大会 地元自治会とタイアップした寄宿舎の行事です。</p> <p><b>部活動</b>          陸上競技部 全国障害者スポーツ大会毎年度出場          球技部 平成30年度全国盲学校フロアバレーボール大会優勝</p>					
家庭・地域 との連携	<p>体育祭、霜月祭（文化祭）、マラソン大会等の学校行事における保護者のバックアップ</p> <p>地域に開かれた専攻科のマッサージ等治療室（地域に開かれた学校）</p> <p>地元自治会と連携した「夏祭り」「餅つき大会」の開催</p> <p>PTAが主催する「点字ブロック理解推進キャンペーン」開催（JR東日本・東武鉄道との連携）</p> <p>「電車」「ホーム利用」「ホーム下避難場所」の体験学習の開催（西武鉄道との連携）</p>					
進路に ついて	<p>高等部普通科の主な進路先          大学、国立障害者リハビリテーションセンター、福祉サービス事業所、          高等部専攻科</p> <p>高等部専攻科の主な進路先          国家資格取得者 合格者多数          就職（一般企業、病院、治療院、施設、自営開業等）          一部過年度も含む</p>					

( 児童生徒数：R2.5.1 現在、進路は R2.3 卒業生の状況 )

## 2 育成方針（児童生徒の成長物語）



# 特別支援学校埴保己一学園 視覚障害に応じた特別な支援を行う学校



本校では、自立した社会人を目指し、幼稚部、小学部、中学部、高等部普通科、高等部専攻科が設置されており、視覚障害のある（あるいは他の障害もある）幼児から成人まで学ぶことができる特別支援学校です。

視覚障害に応じた特別な指導として、幼児児童生徒一人ひとりの自立を目指し、障害に基づく様々な困難を改善・克服するために必要な知識や技能を学ぶ「自立活動」を行っています。主に、感覚を活用して、自分で予測、確かめていく習慣を大事に、生活動作や歩行、移動、点字、視覚補助具や機器の利用等の学習を行っています。次に、各学部等の教育を紹介します。

### （1）幼稚部の教育

幼稚部では、3才以上のお子さんに、遊びや日常生活を通して、食事、衣服の着脱、排泄などの基本的な生活習慣を身につける保育を行っています。

### （2）小学部の教育

小学部では、小学校の教育に準ずる教育等を行っています。児童一人ひとりの障害や学習課題に合わせて、個別や集団での学習を行っています。《体育祭ダンス》

### （3）中学部の教育

中学部では、中学校の教育に準ずる教育等を行っています。生徒一人ひとりの課題に応じた学習グループを編成し、きめ細やかな指導を行っています。

### （4）高等部普通科の教育

高等部普通科では、高等学校（普通科）の教育に準ずる教育等を行っています。生徒一人ひとりの障害の特性に応じたグループ編成による一人ひとりを大切にする教育を行っています。

### （5）高等部専攻科の教育

高等部専攻科では、職業的な自立を目指して、現代医学や東洋医学の基礎知識、あん摩・マッサージ・指圧、はり、きゅうの基本的技術、技能を系統的な学習を行っています。

### （6）寄宿舍

寄宿舍では、生活のリズムや身辺自立の力、友達と関わる力、自分の手で生活を築く力を育てるようにしています。